

2020年12月10日
セゾン自動車火災保険株式会社

JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンドへの投資 ～SDGs 達成への貢献に向けた取組み～

セゾン自動車火災保険株式会社（代表取締役社長：佐藤 史朗、以下「セゾン自動車火災」）は、このたび、独立行政法人 国際協力機構（以下「JICA」）が、新型コロナウイルスへの対応を目的に起債するソーシャルボンド※（以下「本債券」）への投資を決定しましたので、お知らせします。

※ソーシャルボンドとは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

1. 本債券について

JICA が発行する債券は、日本政府の「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針改定版」及び「SDGs アクションプラン 2020」において、SDGs を達成するための具体的施策のひとつとして位置付けられています。

JICA は、世界で猛威を振るう新型コロナウイルスに対し、感染拡大が開発途上国にもたらした健康危機や経済的影響からの早期回復を支援し、今回のパンデミックを経て一層浮き彫りとなった、開発途上国の脆弱な保健医療システムや公衆衛生環境の改善支援の強化に取り組んでいます。

本債券は「JICA 新型コロナ対応ソーシャルボンド」として起債され、全有償資金協力事業のうち、①新型コロナウイルスを含む感染症対策支援（保健医療システム整備、水・公衆衛生環境の改善支援）、②新型コロナウイルスによる経済影響緩和支援（開発途上国の中小企業等に対する金融支援）、に該当する事業に充当されます。

<本債券の概要>

銘 柄	第 58 回独立行政法人 国際協力機構債券
年 限	20 年
発行総額	50 億円

なお、本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、株式会社日本総合研究所からセカンド・オピニオンを取得しております。

2. 本債券への投資

本債券への投資は、開発途上国の人々に対する新型コロナ対策支援の取組みに繋がり、国連の定める持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するものと考え、投資を決定いたしました。

セゾン自動車火災は、「社会的責任の遂行」を経営基本方針の一つに掲げ、SDGs の達成に貢献することを目指しており、ESG 投資の一環として取り組むものです。

3. 今後の取り組み

セゾン自動車火災は、今後も ESG 投資を通じ、運用資産の収益向上を図るなかで、資産運用面からも持続可能な社会の実現に貢献できるよう取り組んでまいります。

以上

<p>当社では、顧客志向経営の実践・拡大と社員個々の成長の好循環による新たな価値の創造を通じて持続的な成長を実現させ、SDGs（持続可能な開発目標）達成への貢献を目指しています。</p>	主に貢献できるSDGsの目標			
<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 	